『楽しい＆エコ』なくらし、いっしょにはじめましょ♪

季刊 えこびと

第18号
2015年10月

Ｐ＆Ｐ特選より

すり寄りし幼子抱きて花火かな（實郎）

ままごとのごとく広げる盆供膳（まるこ）

特 集　エコットーク「田舎暮らし」の舞台裏

主な活動（2015年7月～9月）
エコメンみ～つけた（森のようちえん　森のたまご
代表　遊佐 美絵さん）
とよたのマチねた（あそべるとよたプロジェクト
／復活！西町はしご酒体験記）
活動レポート
会員突撃インタビュー（守随 純子さん）
お知らせ

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています。

９月５日開催　エコットーク「田舎暮らし」

ヒビノケイコさん講演会の舞台裏

多彩なゲストにお話ししていただく「エコットーク」。今回の特集は、高知からいらっしゃったヒビノケイコさんの舞台裏をお伝えします。

☆　☆　☆

ヒビノさんは、田舎暮らしを漫画にしたり、ブログで発信したり、カフェを起業したり、お菓子のネット通販をしたり…と、一言で説明することが難しいです。今回は、豊田市も取り組んでいる、田舎（過疎地）への移住や田舎暮らしをテーマにと、３月に講演依頼をしました。

せっかくだから、豊田市の田舎の様子や定住促進の取り組み、田舎に住み始めた若者との交流をしてもらおうと、おいでん・さんそんセンター（豊田市の都市と農山村の交流をコーディネートする組織）と一緒に企（くわだ）てました。

☆　☆　☆

高知市から豊田市に来るには、電車でも車でも６時間、飛行機だと１日１便と、どれがいいんだろうと悩み、相談した結果、結局、飛行機で金曜に来て日曜に帰ることになりました。２泊３日は、エコット開館史上、最長の講師拘束時間です（笑）。この３日間をおいでん・さんそんセンターと相談して以下のような受入れを行いました。

9/4（金）	・高知龍馬空港→名古屋空港 ・おいでん・さんそんセンターで豊田市の定住促進などの取り組みを説明 ・農山村の現場をまわり移住者との交流 ・旭地区の農家民宿「ちんちゃん亭」泊
9/5（土）	・ちんちゃん亭にて朝食、講演の準備 ・蔵カフェ「ころも農園」にてランチ ・エコットークで講演**←これメイン** ・豊田市のまちで夕食とお疲れ様会
9/6（日）	・宿泊先のプレステージホテルから空港へ ・名古屋空港→高知龍馬空港

☆　☆　☆

車の中で、高知のうまいもの、高知人の飲みっぷりなど、たわいもない話をたくさんしました。

エコットークで、特に印象に残っているのは、

・固定観念にとらわれずに、古いものの中に新しいことを取り入れればいい。古い家はふすまを外せば広い畳の部屋。掃除はロボット掃除機が大活躍する。掃除は意外と楽できる。

・田舎には何にもないと、田舎の人は劣等感が多い。おばあちゃんが、カフェの窓から見る風景に感動していた。何もないは思考停止状態。

・理想をまとめると、妄想が現実になる。

などなど。参加者の中には、遠くは静岡や三重からいらしたそうです。ヒビノさんのブログで「完璧な視察」「涙が出そうになった講演会」と紹介していただきました。

●ブログ紹介記事

「ヒビノケイコの日々。人生は自分でデザインする。」

①「講演報告」涙が出そうになったトヨタエコットでの講演。ありがとうございました

②「田舎カフェ」築 100 年の蔵をリノベーション「ころも農園」農家さんのとれたて野菜ランチは鮮かなおいしさ♪

③「貸さない」をどう解決？「空き家交渉の達人」に聞いたコツ「信頼より気構えで！」先送りにしないお手伝い

④自家製野菜のごはん、ナチュラル建築にオフグリット発電、面白すぎるおかみに癒される「農家民宿ちんちゃん亭」

⑤生きる中で自然にやってきて、喜ばれ役立つことを仕事に落とし込む

◆　◆　◆

熱心にメモを取るヒビノさんに脱帽。３日間を通して、高知のことも、豊田のこともいろんなお話しが聞け、田舎に旅立ちたくなりました。

翌、月曜から現実に戻りましたが…（坂本竜児）

とよたエコ人プロジェクトの主な活動（2015 年７月～９月）

●根川小学校５年生温暖化出前授業（7/6）

ひまわりの特集として紹介されました。

●とよたのエコなくらし hibico 再スタート(7/15)

豊田市から運営を引き継ぎ自主事業として再スタート

●トヨタ EX 会 eco-T まるごと利用イベント(8/2)

●エコットキッズタウン（8/5～8/7）オープニング

●豊田気温測定調査 2015 開催（8/8）

本新町と室町の矢作川河川敷では 4.4℃の差を記録

●いきものめぐみ塾矢作川中流編（9/13）

増水で岩本川での活動。古鼡水辺公園で鮎を食べました。

●とよた産業フェスタ 2015（9/26,27）

●浄水小学校土曜教室（9/26）

エコメンみ～つけた ★彡　森のたまご代表　遊佐（ゆさ） 美絵（みえ） さん

今回は森のようちえん「森のたまご」代表遊佐美絵さんにお話をお聞きしました。

Q　プロフィールは？

北海道出身。結婚で豊田市在住１１年。小５、小３、小１と年少の ４ 人のお子さんのお母さんです。お子さん３人は森のようちえんの卒園生。そして年少のお子さんは在園中。創設時から代表の遊佐さん一家は森のようちえん育ちです。

Q　ところで森のようちえんってなに？

1950 年代デンマークで一人のお母さんが森の中で自分の子どもとお隣の子どもで始めた保育。次第にドイツに広がりドイツには現在 200 以上のようちえんが保育をしています。日本では 2008 年に「森のようちえん全国ネットワーク」が設立されました。

Q　豊田ではいつ頃からはじまったの？

豊田では「森のたまご」として発足したのが６年前です。それ以前に２年間「もりそら」という自然の中で遊ぶ活動をしていました。現在、年少児６名（週４日）年中～年長児 11 名（週５日）の 17 名が里山の自然の中で散歩、木登り、虫取り、水遊び等、時間割を細かく区切らずに満足いくまで活動しています。

Q　森のたまごで大切にしていることは？

「子どもの力を信じる」ことです。できないではなく、できる可能性をいっぱい持っている子どもたちを見ていて、お母さんたちも子どもと共に成長していると実感できます。

Q　子どもの様子、印象的なできごとは？

先日一緒に遊びたいと思った子が、「いれて～」と２～３回言ったのだけど、相手から返事がなくしょんぼりしていたのですが、次の瞬間「いれてって、いわなくてもいいんだよ。いわなくても、一緒に遊んでいいんだよ。」と返ってきました。一般的に一緒に遊びたいとき「いれて」というのが当たり前ですが、“森のたまご”では《「いれて」をいわなくてもいい＝みんな仲間》子どもの中からでてきた言葉に感動しました。お互い信頼し合い、安心して過ごせる場になっていることが嬉しかったです。

Q　森のたまごを運営する上での課題は？

森のたまごが発足して６年になりますが、まだまだ一般への認知度は低いです。そして決まった活動拠点がないことです。理想的な活動拠点としては小さいお子さんを連れた親子のために、古民家があり、その周辺に散歩に行ける裏山や、水遊びができる小川があり、欲を言えば駐車場もある場所があれば言うことなしです。

Q　森のようちえん・森のたまごの将来は？

課題にもあった認知度が低いことです。また信頼性からも NPO 法人化も視野に入れ、森のたまごを確立させたいです。そして地域の信頼もいただきながら愛知県内の他の森のようちえんと連携し、森のようちえん自体が保育事業として、県・行政からも応援してもらえる仕組みになればと思っています。また拠点ですが、条件のすべてとは言いませんが、どなたかよい場所があったらご紹介ください。

Q　あなたのエコな暮らしとは？

子ども服の交換や、畑の野菜の普段食べない茎やネギ坊主まで丸ごと食べること、野草のてんぷらを楽しんだり、草木染めをしたりと、活動そのものが自然の中でエコにつながっています。

Q　最後に読者にメッセージを

ようちえんに通っている、通っていないに関係なく、大人が思っている以上に子どもは力を持っているし、考えています。子どもの力を信じ、大事にして欲しいと思います。（取材　赤坂・守随）

とよたのマチねた

あそべるとよたプロジェクトで魅力アップ！

豊田市駅周辺にある開けた空間“まちなかの広場”を“人”の活動やくつろぎの場として開放し、とよたの魅力を伝え、とよたに愛着を持てる場所として、使いこなしていく取り組みとして「あそべるとよたプロジェクト」を今年、スタートしました。今回は、その実践期間とし2015年10月9日～11月７日まで「あそべるとよたDAYS」を開催します。プログラムを企画・実施する方を募ったところ、期間中、まちなかの８つの広場を舞台に、応募者が自ら企画した３１プログラムを行います。通勤や通学で、いつも通過していた場所に、BARが営業していたり、朝ヨガをしていたり。（プログラムの詳細はWEBサイトやFacebookで日々発信しています！「あそべるとよた」）
今回は１か月で終わりますが、日常的に「とよた楽しい！」と感じてもらえるよう、今後も継続していきたいです。あそべるとよた、楽しみです！
（あそべるとよた推進協議会準備会　西川雄太）

とよた西町はしご酒２年半ぶりの開催

お店の人と息子

西町×居酒屋×お得とくれば、参加しないわけには行きません。とよた西町はしご酒が9/15、16に開催されました。４枚つづりのチケットを4,000円（前売り）で買い、４店舗をはしごするというイベントです。西町商店街の29店舗で楽しめます。各店では、ドリンク１杯とお店の自慢一品が提供されます。こんなお得で楽しいイベントはないと、初回（５年くらい前かな）から参戦しています。←自分との戦いなんですよ。
今回は、友人と家族で２店舗めぐり、その後は家族を見送り、友人とまわりました。まわった店舗は、**①番外編※はなつき（相乗り企画）→②黒かべ→③シュナイダー→④ほりくら→⑤蓮REN→⑥ふくいや→⑦番外編※ハック**の７店舗。
前回より、チケットの単価があがり、集客が見込めず、通常の予約を入れて、はしご酒のお客さんが入れない！なんてこともあったようですが、西町のおいしいお店を再発見するいい機会になりました。ちなみに、西町はエコ人事務所の所在地です。地元応援の一つとしても積極的に参加しています。（坂本竜児）

※番外編とはチケットの対象とならない店舗

●次回のはしご酒イベント●
とよた小坂食べ歩き飲み歩き
11月３日（火・祝）、４日（水）

活動レポート

●レポート１

～こどもがつくるこどものまち～
今年も大成功！エコットキッズタウン 2015

今年で第７回目を迎えた、『エコットキッズタウン』を、８月５日から３日間開催しました。
連日猛暑日が続く中での開催でしたが、３日間で、約 630 名の子どもたちが、毎日エコットに足を運んでくれました。親御さんも子どもたちの成長を楽しみに毎日送迎、町ツアーや工場見学などに参加し、子どもと一緒に楽しんでいただきました。
キッズタウンの『元祖』であるエコットですが、近年、交流館など様々なところで開催されるようになりました。今年は危機感をもって、エコットでしか体験できない企画をと、昨年末から準備委員会を立ち上げ、２月に大人実行委員会をキックオフし、準備がスタート。交流館で開催したキッズタウンを見学するなどしながら、実行委員の中で議論。５月からは、子ども実行委員会をスタートさせ、子どもたちの自由な発想を聞きながら、子どもの意見を尊重して一緒に進めてきました。
一例として、オープニングを、子ども実行委員による『ダンス』で華やかにスタートするなど、子どものアイデアを取り入れていきました。
PR チラシも子どもたちの自由なイラストを使って完成し、学校、地域に配布し PR に努めました。
会場も、１階と２階をフルに活用して、働く場所のスペースを広くしたことも今年の特徴でした。

10 月には、キッズタウン報告会を行いました。
来年は、今年の反省点を踏まえて、より魅力あるキッズタウンにしたいと考えています。エコットの三大イベントとして…　　（しょうちゃん）

●レポート２

エコットの夏休み
～レールパーク初開催～

eco-T の夏休みといえば、小学生の宿題お助け講座やキッズタウン！子どもたちもたくさん来てくれてにぎやかです。今年はおなじみのイベントに加え、新しい企画も行いました。
そのひとつ、「ちびっこレールパーク」。男の子なら一度は遊んだことのあるプラレール。実は「もう子どもが使わなくなったから」と数人の方からいただきました。列車もレールもたくさん！
eco-T の展示室に大きく広げ、どんどん線路をつないでいきます。思わずインプリさんも夢中になっちゃいました。

子連れのお母さんにもゆっくりのんびりクールシェアしてもらえたら、という思いで実施したイベントですが、ねらい通り、たっぷりと長い時間、遊んでいってくれました。

とよた クールシェア
みんなで仲良く涼みましょう！

涼しく学習できる特設スペースを今年もご用意しました。昨年よりも中学生の利用が増加！ただ、今年は例年以上に日中の暑さが厳しい日が多く、２階がなかなか涼しくならず…。地球温暖化は学習の効率も下げてしまいますね（苦笑）

（福間陽子）

会員突撃インタビュー

守隨（しゅずい） 純子 さん

どこでも教室、いつでも学び。学ぶ姿勢を持ち続けたい。

今年度よりエコ人の理事。ある時はガールスカウトのリーダー、ある時は会議のファシリテーター、ある時は市民活動の相談役などで大活躍。パワーあふれる守隨さんにインタビュー。

Q　趣味はなんですか？

読書、庭いじり、いたって内向的なことが好き。小学５年生の時に病気で１か月学校を休んだ時に母がたくさん本を用意してくれて本好きに。今でも勉強の半分以上は本からかなぁ。本を選ぶところから好きで本屋に行くとね、目に飛び込んてくるキーワードがあって「そんな偶然の出会いがいいな」って思う。電子書籍もなかなか便利ですよ。目が悪くなってきたから、タブレットだと字を大きくできたり、立てたまま編み物をしながら読むことができたり。本から知識を得ていることが多いです。勉強する時は、まず本を読んでみる。でも、読み切るばかりではありません。

自分の興味あるところにマーカーをひきあとでじっくり読むとか、趣味はどれもほどほどです。

Q　仕事や活動と趣味と生活とどんな風にバランスをとっていますか？

あまりすみわけがないのかな。仕事も楽しいから全部好きでやっています。だから疲れを残さない。自分で忙しさをコントロールしている。人間には自然治癒力や自己治癒力があるって思っているの。だから、できるだけ病院に行かず自分で体調もコントロールしたいなって。

Q　最近感動したことは

やっぱり、ガールスカウトの子どもたちの成長を見られた時。とても大きな発表の場で、自分たちの言葉で発表し、堂々と質問にも答える子どもたちの姿を見たときはとても感動。それを見て、私もチャレンジしなきゃ！って思います。

勉強って学校に通っている間の期間限定的なことだと思う。でも、「学び」はいつだってできる。そしてみんなが先生、そして、どこでも教室になると思います。だから私も学ぶ姿勢は持ち続けていたいし、学び続けていきたいと思っています。

Q　エコ人にひとこと

まだエコ人の理事として日が浅いので、大きなことは言えませんが…。

ガールスカウトのリーダーをしていたことは、私の芯になるもの。ガールスカウトは体験を通して学んでいく活動。トップダウンの組織は今どき、通用しないと思っています。

私は理事という役割を縁があっていただきました。理事には責任があると思っています。その組織を社会的に貢献できる団体にしていくことはもちろん、そこにいる人材をどう活かすかってことも重要なことだと思っています。組織は人の集まり、その人のいいところを見つけ出して伸ばすことが大事。

たとえ、相手が自分の期待通りでなかったとしても、基本「来てくれてありがとう。いてくれてありがとう。」っていう気持ちでいます。

インプリさん、スタッフ、理事が１つの事柄に対して「私の問題」、「よし、やってみよう！」って思えることが大事じゃないかな。そうみんなが思えるようにしていけたらいいですね。

できなかったら…ではなく、できるように前向き。誰に対しても「いてくれてありがとう」が基本。常に学ぶ姿勢ということが印象的でした。

（会員突撃チーム：杉山佐由紀・田原愛子）

エコ人からのお知らせ

新規会員募集中！

〔会員特典〕

・ほぼ季刊で「えこびと」をお届けします。
・会員メーリングリストに登録できます。講座やイベント、世の中のエコ情報が届きます（不規則）。
・講座やイベントに会員特典（参加費の割引など）を受けられることがあります。
・e-cafe チケット３枚プレゼント！
　コーヒーを飲みながらエコ井戸端会議、
　eco-T で毎週木曜日に開催しています。
・少人数の会議や作業などで事務所を利用できます。
・スタッフや理事に気軽に質問や相談ができます♪（笑）

＊入会方法については、お気軽にスタッフや理事にお問合せください。

〔会費〕

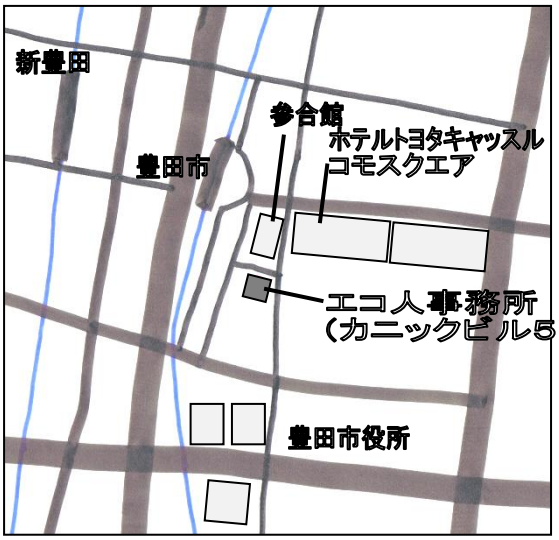
正会員	10,000 円（議決権あり）	
賛助会員	一　般	1,000 円／口
	学　生	500 円／口
	非営利団体	3,000 円／口
	営利団体	10,000 円／口

＊エコ人の年度は６月～５月です。

〔現在の会員数〕

正会員 22 人、賛助会員 49 人・３団体

〔エコ人プロジェクト事務所 MAP〕



女性８人の山里暮らしを紹介した本『里 co』発売中です！

田舎暮らしの疑問に答えるべく 豊田市の山里に住む女性８人の『移住の経緯と、 その後の生活』について女性市民ライターがインタビュー。田舎暮らしを目指している方にも、そうでない方にも明日を生きるヒントを見つけるために、手にとって見てください。

定価：1,000 円　会員価格：700 円

平成 28 年度版環境カレンダー完成！

環境漫画家のハイムーンこと高月紘先生のカレンダーができました。「ひかりあればみどりあり」が来年のテーマです。

定価：900 円　会員価格：500 円

編集後記

７月20日にエコ人プロジェクトの第７回通常総会が開催され、事業報告・決算、事業計画・予算を会員のみなさんに説明し、承認をいただきました。ありがとうございます。稲武での開催ということで、おいしい料理に舌鼓を打ち、温泉や買い物を楽しみました。来年は eco-T は 10 年目を迎えます。メモリアルな年になるように思案中です。（坂本）

発行・編集　NPO 法人 とよたエコ人（びと）プロジェクト

〒471-0025　愛知県豊田市西町 1-88 カニックビル５階
TEL：0565-50-5684　FAX：0565-50-5568
メール：info@t-ecobito.jp
ホームページ：http://t-ecobito.jp/【新しくなりました！】

最新情報はホームページへ
とよたエコ人　検索